

我々NPO団体において運営費はどのように獲得すればよいのでしょうか。理念としては社会貢献ですが、運営して持続していくことも大きな要素です。そのためには資金が必要ですが、単なる事業化だけでは厳しい現状には対応できないでしょう。我が道は、社会問題解決型で、社会性があり革新性がある分野において事業を探求することでしょう。(馬淵)

形態	ミッション	ビジョン	継続手段	資金活用	手段	具体的
民間企業	社会貢献	利益追求	資金	会社貢献	事業化	マーケティング
NPO	社会貢献	社会貢献	資金・情熱	運営費	ソーシャル	行政代行

■関西中央新聞 News から

「高碓達之助に学ぶ会」「NPO 法人高槻名誉市民を語り継ぐ会」メンバー34名が8月19日、東洋製罐茨木工場を見学した。

某会員「なぜ製缶工場を見学するのですか？」

某社員「弊社のどこに興味が？」

応えて曰く「工場の佇まいから創業者・高碓達之助翁の志とロマンを感じたいからです」

結果、やはり社員皆さんの雰囲気は、他社にはない一味が感じられ、ホッとした。(文責・角)



我が会会員三輪氏からの投稿

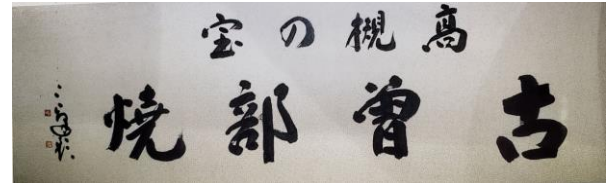
「8月19日 東洋製罐茨木工場見学会に参加して」茨木工場は主に、ビール用アルミ缶を製造している。しかし、大阪・横浜・静岡・広島・福岡工場などとPETボトルの製造が多くなっている。

いま世界では廃プラスチックやペットボトルが海洋投棄されていて、マイクロプラスチックの問題が話題になっている。我が国はその回収もリサイクルも十分にされているのであまり問題ないと思っていた。しかし、国外では一向に海洋投棄はなくなる。

その問題を解決しようと苦心するのが高碓精神。

【東洋製罐茨木工場】東洋製罐(株)は食品用の缶製造における国内トップメーカー、茨木工場は板材から缶容器に至るまでの製造工程がある。板材の打ち抜き、深絞り加工、塗装、缶上部の形状加工や缶表面のエンボス加工、蓋部の製造である。

『村上三島記念碑を訪ねて第四弾』



村上翁の高槻の伝統工芸への造詣の深さを物語る一筆をご紹介します。それは地元郷土史家の川崎嘉夫氏に託され、今は高槻市しろあと歴史館が所蔵する“古曾部焼”(1999年作)の書。和紙は人間国宝故安部栄四郎氏作の“雁皮紙”の半切という一流の作。古曾部焼とは知る人ぞ知る江戸末期から明治後半に至る高槻市古曾部の五十嵐家代々が自宅窯、工房で引き継ぎ制作した伝統工芸の陶器の数々。翁の永眠の地“大阪三島”への思いの深さを知る一筆。(宮本)

【お知らせ】

『岡崎嘉平太の記念館を訪ねる旅』

下記の要綱で行いますのでふるって参加お願いいたします。(高碓に学ぶ会と共催)

*日時: 令和元年10月9日(水)

バス7時30分出発、18:30到着

*コース: 高槻市役所⇒高槻IC⇒賀陽IC⇒岡崎記念館(見学・昼食)⇒山田方谷記念館⇒有漢IC⇒高槻IC⇒高槻市役所

*参加費: 10,000円(すべて含む)

岡崎嘉平太: 1962年日中貿易交渉の副団(団長は高碓達之助)として訪中、高碓の信頼も厚く1968年以降は日中覚書貿易事務所代表として訪中を重ね周恩来首相とも親睦を深め信頼関係を築いた

■例会に関し

今回は10/21 第三週例会で、宮本会員を中心としたミーティングとなります。